

令和2年度 第1回朝倉市総合教育会議

日時：令和2年8月20日（木）14：00～15：05

場所：ピーポート甘木第6学習室

出席者：構成員	林市長、宮崎教育長、井手教育委員、内藤教育委員、 鹿毛教育委員、上原教育委員
教育部	高木教育部長、藤森教育課長、仲山文化・生涯学習課長、 橋本教育課主幹参事、石橋教育課参事
関係課	田中保健福祉部長 平田福祉事務所長 上村子ども未来課長
傍聴者	0名

1 開会

2 市長あいさつ

3 議題

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策のこれまでの取組と学校の目指す姿について

4 その他

5 閉会

市長	市長あいさつ 本日は、お忙しいところ、教育長をはじめ、教育委員会委員の皆様におかれましては、令和2年度第1回朝倉市総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。 また、皆様には平素から、本市の教育行政にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。 今年は、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、日本においても多大な影響を受けております。学校現場に置かまし
----	--

ては、全国の学校が休校になるという事態となりました。授業は再開されたものの、授業時数を確保するために、児童生徒の夏休みにも影響を与えています。

8月17日からの授業実施にあたっては感染症対策のみならず、真夏の熱中症対策などにも気を配り、教育現場の先生方におかれましては大きな緊張感をもっておられることと存じます。

感染者の数が一時少なくなったのも束の間、第一波よりも感染者の数が増大し、朝倉市においても感染者が確認される事態となっています。このまま感染拡大が続けば、冬場の授業にも多大な影響が想像され、更に子どもたちの心身への影響も心配されるどころです。

こういったことから教育現場の新型コロナウイルス感染症対策を本日の総合教育会議の議題とさせていただきます。

この総合教育会議は、市長である私と教育委員会が、互いに対等な執行機関の立場として、教育分野における課題や教育のあるべき姿について、協議・調整を行う会議でございます。

各種情報を共有し、両部局が連携しながら、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策等を効果的に推進することで、本市の教育行政をよりよい方向へ進めていくものであると考えております。

これから、皆様方と闊達に議論することで、総合教育会議が、市の教育行政の更なる充実・発展に寄与することを期待いたしますとともに、教育長並びに教育委員会の皆様には、この会議を含め、今後とも、市の教育行政のためにお力添えを賜りますよう切にお願い申し上げ、簡単ではございますが、開会に際しましてのあいさつとさせていただきます。

総合政策課
長

ありがとうございました。

それでは、議題に入ります。これからは、朝倉市総合教育会議設置要領第3条第1項により、林市長に、議長として進行していただきます。よろしくお願いいたします。

市長

それでは、次第「3 議題」の協議を行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

<p>教育課主幹 参事 教育課参事 教育課長</p>	<p>(1)の「新型コロナウイルス感染症対策のこれまでの取組と学校の目指す姿について」を議題といたします。教育課から、資料の説明をお願いします。</p> <p>(1)「新型コロナウイルス感染症対策のこれまでの取組」の説明</p>
<p>市長</p>	<p>「新型コロナウイルス感染症対策のこれまでの取組」について、説明がありました。 ご意見、質問等がありましたらお願いいたします。</p> <p>今は質問がないようですが、進行するなかで質問事項が出て参りましたら随時お願いします。</p> <p>「新型コロナウイルス感染症」はすぐには収束の見込みが立ちませんが、そういった中での「学校の目指す姿について」話して参ります。ご意見をどうぞお願いします。</p>
<p>教育課参事</p>	<p>先ほど教育課長より ICT の説明がありましたが、今後、学校現場にタブレット端末等導入されることについて、いくつか課題もございます。特に、機器が導入され、実際に活用する学校の先生方に活用スキルがあるかどうかという課題があります。そのため先生方の機器の操作及びアプリケーションの研修、プログラミング学習の研修等が当面の大きな課題となっております。また、かなりの内容を1年という短いスパンでやらなければなりません。</p>
<p>教育長</p>	<p>この背景について少し補足をします。</p> <p>今回のコロナウイルス感染症により臨時休校や分散登校をすることとなり、子どもの学力補償のため様々な教育条件の整備が行われました。そして、その整備状況により学力に格差が生じていると言われました。マスコミなどによると、オンライン授業が行われているところではスムーズに学力補償されたと捉えられる報告がありました。逆に整備が不十分なところでは学力があまり補償されていないのではと心配をかけているのでは</p>

ないかと思えます。学力補償のためのオンライン授業を行う整備がなされていない朝倉市では、これまでの学習のスタイルをうまく使いながら、プリントによる学力補償を行ってきました。これが今回、GIGA スクールの補助により、市では高額な予算をとらせていただき、コロナウイルス感染症により臨時休業があった場合にも一人ひとりの子どもに学力補償ができる仕組みができましたので、それに向けて進んでいくよう取り組んでおります。ただ、この新しい学習スタイルとオンラインを取り入れた授業をうまく進めようとしておりますが、教育課参事が申しましたように、現実にはオンライン授業を行ううえでの教職員の技術的な部分に課題があるということになります。

市長

教育課参事、教育長から話がありましたように、大変難しいことを短い期間で実施するのは大変だと心配に思えます。

内藤委員

確かに難しいことではありますが、これを機に、明治から150年間続いてきた、学校に子どもたちが登校し学級の中で勉強してそして下校するという形からは離れた、まったく違うシステムを利用することで面白い授業ならびに教育ができるのではないかと思えます。問題点もあるかと思えますが、これを一つの機としてとらえたらいいかなと思えます。

井手委員

私も以前は学校現場にいましたが、今の学校は大変だと思えます。かなり勉強しないとついていけない時代になっていると感じます。オンラインでの授業により、学校に行けない子どもたちに手厚い教育ができるという良い面もありますが、これが進みすぎると良くない面もあります。それは、今まで学校現場で大切にされてきたもの、人間関係のつながり、その中で力をつけてきた生きる力、そういった大切なものが置き去りにされることを危惧しています。今まで大切にされてきたものをいかに子どもたちに伝えていくかということも学校現場の一つ大きな課題だと思えます。

上原委員

現在、東京でもすでにオンラインの授業が行われているかと思えます。オンラインになっていくうえで皆さまがおっしゃるように良い面、悪い面が出てくると思えます。良い面としては

専門性が出てくるという点で、教え方の上手な先生のところでは学力が伸びると思います。また、先生たちのスキルを考えますと、まずタブレットを使いこなせるような研修が必要であるとの説明もありましたが、たとえば高校等で情報を専門に教えている先生が学校にアドバイスして、そこから小学校、中学校の先生に教えてもらい、さらには専門性が生まれることで小学校の先生も、中学校と同じように教科ベースで教えていくことも将来的には考えられるのかと思います。そういった面においてはこれからの社会にもマッチしていくのかと思います。しかし、井手委員が申されましたように小学校の本来の姿、集団生活の社会生活を学ぶ面は残しておくべきだろうと思います。

鹿毛委員

今までになかったものが入って、子どもたちにはとても刺激になり、学習意欲も湧くのではないかと思います。教える側の先生たちの負担は、最初だけかもしれませんが、事前に勉強しておかなければなりませんし、周りではそれ以外のことも起こっており、先生の余裕がなくなると学級崩壊などにつながりかねないと思いますので、専門知識をもった方が入っていただくと、子どもたちもスムーズに入っていけると思いますし、学習にも役立てられるかと思います。

市長

福岡県の教育委員会の中では小学校、中学校あるいはその他の学校について、今後の GIGA スクールの方針についてはどのように話されていますか。

教育課長

まず、今の県内の状況というところですが、市町村においては自治体によってかなり差があるという報告を受けています。ICT 関係において全国で比較した福岡県自体の状況というものはありませんが、もちろん進んでいるところもあるという状況です。佐賀県の武雄市などでは10年ほど前からタブレット端末を活用した授業をしているというところもあります。単にこういった設備などを整備するだけではなく、その使い方に関して、具体的にどの程度までという基準はありませんが、十分に勉強しながら研修などが必要と思っております。ただ、ICT に関して専門的な知識をもった方が入っていただけたらという意見がございましたが、補助事業のなかに ICT のサポーターの雇

	<p>用についても項目があがっておりますので、今後検討していくのではないかと教育部としては考えております。</p>
上原委員	<p>学校の現場では先生方が一番理解していないと、実際に使って子どもたちに教えていくことは難しいと思われます。テレビなどでも、学校の先生が多忙すぎるということを最近よく見ます。一部ではブラックだとも言われますし、離職者が多いということも言われております。そういったなかで、先生方が働きやすく、実際にそれを使って子どもたちに教えやすいような環境を整えることができればと思っております。</p>
内藤委員	<p>その点に関して、導入当初はかなり大変だと思いがすが、活用していくことで徐々に楽に作業ができるようになると思いがす。最初からすべてをオンラインにするわけではなく、まずは1、2教科で、タブレットを教材として、徐々に子供たちの勉強に活用されればいいと思いがす。最初からすべてにオンラインが適用されると認識されてしまうのではないかとこの心配はありますので、そこは懇切丁寧に説明が必要なのではないかと思いがす。</p>
市長	<p>あくまでも子供たちを指導するツールであるということをしつかりと保護者の皆さまあるいは関係する人たちが共通して認識しておかなければならないということでしょうか。</p>
内藤委員	<p>そうです。そういう認識は多くはないかもしれませんが、そのように捉えられても困るかと思いがす。また、先ほど申されましたことですが、不登校の子供たちにとっては良い面ですけれども、逆の面もあるのかと教育委員会でも言われております。</p>
井手委員	<p>私たち教育現場の教育委員会がこのように悩んでいるのは、それだけ地域や家庭内で理解されていなければならぬと思うからです。理解されない方もいるかもしれませんので、そのような部分を解消していかなければならぬと思いがす。</p>
内藤委員	<p>例えば、カリスマ的な先生をテレビなどで多く見かけますが、そのような先生による教育も朝倉市では不可能ではないか</p>

	<p>と思います。そのように教育の形には様々なものがあるため、誤解を生まないように、朝倉市の教育の方針というものを明確に示す必要があると思います。</p>
市長	<p>最近まで教育現場にいた橋本教育課主幹参事からは今の教育現場の状況はどのように見えますか。</p>
教育課主幹参事	<p>今回の GIGA スクール構想については5年で体制を整えるとして中学校が1学年、小学校が2学年をターゲットとして3月に予算をたてたところですが、コロナの影響により計画が前倒しになり1年で体制を整えることとなりました。急激な ICT 教育の推進の中で、現場としては差が大きいと感じます。若い先生方には授業の中で自分でタブレット等を活用したり、体育の授業にドローンを活用したりと、そのようなものの活用に長けている先生方もいる一方で、そういったものの活用に長けていない方もおり、プリントの活用などアナログ的な授業をしている方もおられ、人によって差が生じております。このことを考慮するとまずは技術的にまだ慣れていない先生方から、初歩的なことから始め、それから授業でのタブレットの使い方、などと進めていく必要があると思います。一般的にどこでもオンラインで先生と子供たちが授業ができるという錯覚をおこしてしまうかもしれませんが、どこでもがオンライン授業をできているわけではありません。まずは授業でタブレット等活用していき、そこから家庭へとひろげていくことになり、実際にオンラインでの授業を行うというのは最終的に目指すかたちであると、そう感じました。</p>
市長	<p>オンライン授業は大学などでは有効的な面が多いかと思いますが、小学校、中学校の場合は前提として社会性、生きる力が身についたうえで、有効なツールとして活用されるものであると感じます。</p>
内藤委員	<p>人を育てるのが教育ですので、申される通りにやはり社会性を学ぶ教育というのは排除してはならないものと感じます。</p>
市長	<p>議会などで GIGA スクールやオンライン学習という言葉が出る</p>

	<p>と、これが絶対であるという意見も出ております。それが保護者などPTAの中でもこれが絶対であるという意見がでてしまうと、対応が大変になると思います。</p>
<p>内藤委員</p>	<p>やはり、教育委員会及び市として、ICTの流れやオンライン授業とはこういうものであるというアウトラインを作っていたら、学校や保護者と共有していくことが大事だと思います。コロナにより喫緊の対応が必要となりましたが、本来であれば計画があったということですので、数年後にはこうなるという今後の流れがわかるアウトラインを作ってほしいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>日本は遅れており、経済大国としては良くないという報道もありますが、日本が今まで歴史的に育んできた人間性、誠実性という面が抜けて、一方だけが強く報道されることを受けて、保護者も報道が正しいと感じてしまうこともあります。</p>
<p>教育長</p>	<p>今の学習を振り返ると、一斉学習を行っており、教師が教壇に立ち授業を行えば、子どもたちは学習したということにはなりますが、子どもたちが学ぶ姿勢を持っていないと、真に学んだことにはなりません。オンライン授業になりますと、不登校の子どもも学習できるという良さがありますが、その学習を受け取るかというのは子どもが決めることです。教師が授業をしたというだけでは結果は違うものになってしまいます。大事なものは、何のために学ぶのか、何を目的として学ぶのか、どんな人生にしたいのかという、学ぶ意欲の根底となるしっかりとした教育が必要です。オンライン授業を行う技術を学ぶだけではいけないと思います。これからは多様化の時代なのでいろいろな人と話し、考え方を知り、みんなでやり方を合わせ、共通理解をもつことも身につけなければならないので、これから先はこれまでは良しとしてきた学校教育の在り方、今までは教師が授業を行ったから良しとする在り方も、それを理解できる子どもとそうでない子どももいることを再認識させられる場面となっていくと思います。本来の学校教育である、何のために学習するのか、その志や、意欲をもって学ぶことを教育することも大事だと思います。</p> <p>また、学校がタブレットを用いた教育を始めるなかで、教師</p>

	<p>自身のスピードで授業を行うと授業が遅れてしまうという失敗が予想されます。おそらく、子どものほうが先に進んでしまうのではないかと思います。あくまでも教育の目的ではなくツールであるということ認識しないといけません。</p> <p>やはり、何のために学んでいるのかが大事なので学校ではそのようなことを考え直して教育していく必要があると思います。そして、人と人とのふれあいというものを大事にしないといけません。</p>
市長	<p>行政からは何か意見はありませんか。</p>
福祉事務所長	<p>福祉事務所では、障がいをお持ちの子どもへの入所施設などに対して支援を行っていますが、どうしても身体的、知的に障がいを持っている子どもは接触、手助けをして学習をサポートすることが必要となるため、今回のコロナウイルス感染拡大が危惧される状況においては、教育が非常に困難な状況にあると感じています。どのようにサービスを提供するのか、また、事業所と話し合いながら、感染防止をしながらサービスを提供しなければなりません。そういった面では学校教育とはまた違った面を感じています。</p>
市長	<p>オンライン学習に関しては難しいのでしょうか。</p>
福祉事務所長	<p>オンライン学習が難しいというわけではなく、コロナウイルスの影響により、接触を避けてのサービスの提供が難しい状況にあると感じています。</p>
教育長	<p>教育について、今言われ続けているのは教育の個性化、最適化です。障がいを持った子どもが学習を進めていく中で、総合的に見ればできないこともあります。できることもあります。一人ひとり自分の持つ力が何なのか、将来何をしたいのかを理解することで、自分の目指す将来の実現にもなりますし、社会に貢献できるようになります。そういったことを求めていく教育に変わっていくと考えられます。障がいを持っていることは劣っていると考えるのではなく、個性化により考えていかなければなりません。私たちが考えていくのは、これからの教</p>

	<p>育はどの学校で学んだかではなく、何を学んだかが重視されるということです。</p>
市長	<p>まもなく時間となりますが、他にご意見はありませんか。</p>
内藤委員	<p>コロナの関係で、学童の先生は疲労が溜まっているという話を聞きましたが、どのような様子でしょうか。</p>
子ども未来課長	<p>4月からの臨時休業の間、本来であれば学校が終わって3時からの勤務というのが、朝から出勤をすることとなり、その方の生活パターンが変わってしまったり、コロナウイルスに感染してはいけない、うつしてはいけないというプレッシャーの中で従事していただいております。ただ、先ほどの報告にもありましたように学校のほうからも可能な限り協力をいただき、必ずしも全員ということではなく一部の方は学校のほうを利用させていただくというかたちとなっております。また逆に、夏休みになると、例年とは異なり夏休み期間が短くなったため、勤務時間も短くなりましたので、最近では、以前と比べて疲弊しているという話は少なくなったように感じます。ただし、市内発症者も増えつつあり身近にコロナウイルスの危機が迫っている状況に神経をつかっている様子はあります。その対応としてはマスクや空気清浄機などを導入しながら環境を整えているところでございます。</p>
市長	<p>修学旅行についても説明をお願いします。経済対策を含め、福岡県から修学旅行のバス代を1台につき5万円の補助が出るとのことでしたが。</p>
総務部長	<p>昨日あたりから福岡県がニュースなどで情報をリリースしておりますが、正式ではありませんが県内の修学旅行の候補地として、「神宿る島」として有名な宗像市、そして、3年前の九州北部豪雨の学習として朝倉市があがっております。そして、県内の学校が県内で宿泊する修学旅行を対象にバス1台につき5万円の補助が出ます。教育課では修学旅行のバスの手配について、ソーシャルディスタンスを確保するため大勢の乗車ができないので、今まで1台でよかったものを2、3台確保するとし</p>

	<p>て臨時議会で市独自の助成制度を設けたところです。経済対策の一環、あるいは朝倉市にご来訪いただくという意味では朝倉市にとっての好機であるにとらえました。</p>
内藤委員	<p>原鶴温泉なども修学旅行先として名前は挙がっていますか。</p>
総務部長	<p>被災地のみを訪れるということはないでしょうが、詳細については観光協会や商工観光課、農林商工部など関係部署の中で話し合っていくこととなります。</p>
教育長	<p>学校の中での修学旅行に向けた動きの説明をお願いします。</p>
教育課参事	<p>今現在の修学旅行の計画でございますが、小学校11校につきましては計画どおり実施するところでございます。旅行地につきましては長崎市内を計画しています。ただし、バスの台数をどうしても増やさないといけない、部屋数を増やさないといけないなど、経済面の問題に関して旅行会社と調整中である学校が数校ございます。</p>
教育課主幹 参事	<p>中学校6校につきましては、2校が東京方面、4校が関西方面の京都、奈良、大阪に、6校とも12月を予定していましたが、行き先について、東京方面を予定していた2校は行き先を変更、関西方面を予定していた4校のうち1校は現在保留中、残りの関西を予定していた3校については南九州へのコースへ変更しております。また6校のうち2校は時期を2月に変更したという連絡を受けております。ただし、どの学校も状況を見て場所の変更をどうするか旅行会社との打ち合わせもありますし、京都方面に関してはキャンセル料のことも考慮して検討している状況であります。</p>
内藤委員	<p>GoTo キャンペーンは活用されるのですか。</p>
教育課主幹 参事	<p>その点についても旅行会社と打ち合わせ中です。</p>
内藤委員	<p>修学旅行で朝倉に来訪された場合の対応はどうなりますか。</p>

総務部長	<p>今後、実施要領や対応についての指示が早急に進められると思います。災害の復旧復興の妨げにはならないような復旧復興が進んだ河川整備についてなど、あるいはパネルの活用による説明などが定番になるのかと考えております。そのあたりについては県と協議をしながら、実際に担当することになる部署と進めていくことになるかと思えます。</p>
市長	<p>その他、ご意見等ございませんでしょうか。 ないようですので、ここで議題については終了させていただきます。ありがとうございました。</p>
総合政策課長	<p>次第「4 その他」です。事務局からは特にございません。 次回総合教育会議につきましては2月の教育委員会の日程に合わせて開催させていただくことといたしております。よろしくお願いたします。 これをもちまして、令和2年度第1回総合教育会議を閉会いたします。</p>